

# みなし更新研修＊開催しました！

依存症専門医が教える「困った人」は実は「困っている人」  
～職場と家庭のギャンブル依存症予防～

去る6月15日、オンラインと対面のハイブリッドでギャンブル依存症の研修が開催され、全国から28名の参加がありました。

ギャンブル依存症への関心が高い昨今、福田先生の大変分かりやすい説明で、脳への影響などを理解することが出来た研修でした。

依存症になっていく過程、誰でも依存症になる可能性のある事、ハマりやすさは方向性を変えて活かすこと、共感や受け止めてくれる場所の必要性を話されました。

「生きづらさ」「孤独感」  
「ストレスへの対処」…  
受講者自身もご自身を  
振り返る機会になられた  
ようです。

学びを  
いかにカウンセリングに  
活かせるか  
そんな視点で真剣に  
聴いておられる様子が  
伝わった研修でした。

次ページで受講者の感想  
を読むことができます。



くすのきフランチ  
2024年7月号＊



♪カウンセラーとして大変学びの多い研修だったことが、受講者さんの感想を通して伺えました。受講者さんの感想の一部を掲載します♪

\* "今まで依存症について基礎から学んだことがなく、日々のニュース等で情報をかじって分かっていたつもりだったことに気付くことができました。また、依存症は自分自身には身近でないと思い込んでいた部分がありました。誰しも依存症になる可能性があるんだと気づかされて、本当に良かったと思います。時代の変化によって、依存する対象が変化していくこともあると思うので、こういった依存とは隣合せだということ念頭に置いて、カウンセリングを行っていきたいと思いました。

\* とてもわかりやすかったです。また、「自分も弱い人間だ」ということをもつことについて先生のお話を聞きながら、私は弱い人間だと思ふことを恥じることはないのだと思えたり、なにか、人生観のようなことまでも考えるきっかけにもなりました。ありがとうございます。

\* "治療の回復のステップがカウンセリングプロセスに近いものがあると思った。また、自助グループでの言いつばなし聞きつばなしのルールは安心して語れる場所があると言う事が、どれだけの気づきや安心感をもたらすのか改めてグループダイナミクスの大切さを感じることが出来ました。"

\* 依存症に苦しむ方たちに対する、講師の深い愛情を感じた。医は仁術。カウンセラーもそこが肝だと再認識させて頂いた。

\* "孤独感や孤立感は物理的な意味ではなく、その人がどう感じているのかという感情的な意味になると思うので、相手のその気持ち(感情)に自分は気づけるのだろうかと思いました。また、自分の思いや感情を言葉で表現しない(できにくい?)人に対しては、少しでも話してみようかなと思ってもらえるように、誠実に丁寧に関わりながら自分自身の人間力?を磨いていきたいと感じました。

依存症についての研修 次回は9月14日(土)

Part2「医者が教える 長生きできるお酒の飲み方」も乞うご期待!